

広報 おまえ



特集
山のおくりもの 山菜

お祭り日和だ、ワッショイ!

4月26日、小漆川区の白山神社神輿祭がおこなわれ、住民と子どもたちでお神輿とともに小漆川区と13区を練り歩きました。この日は雲一つない晴天に恵まれ、子どもたちは笛と太鼓の音に合わせて、威勢のいいかけ声とともに一生懸命お神輿を引っ張っていました。

平成27年

5

No.651



山のおくりもの

山菜

いわゆる「山の幸」の代表とも言えるのが、多種多様な味わいを持つ山菜です。豊かな自然の恵みとともに生きてきた大江町の人々にとって、山菜は古くからなくてはならない存在でした。これからの季節、皆さんのご家庭の食卓にもお馴染みのメニューとして並んでいくのではないのでしょうか。

今回は、山菜文化のルーツとその魅力についてお伝えします。

人気が増大している山菜

わらび、ぜんまい、こごみ、たらのめ……私たちが普段何気なく「山菜」と呼んでいる植物ですが、正確には「自然の中に自生する野生植物のうち、食用にできる植物」のことを「山菜」と呼びます。その種類は多彩であり、草丈がわずか10cmの小

草から樹高20mに達する大木の芽までも含まれ、よく道端で見かけるつくしも山菜の仲間として挙げられます。生育地も山地から原野、畑など広範囲に及んでいます。

一般的な野菜と異なる点は、山菜は食用の部分が、やわらかい若芽や先端の部分に限られるうえ、採取や収穫のタイミングが難しいというこ

とです。近年、食材の自然志向、本物志向などで人気が増大し、それに呼応して多くの山菜が栽培されるようになってきました。

山の恵みは生きる源

栽培技術や保存方法、そして流通の発達により、現在の私たちは様々

な野菜や果物を、一年中好きなだけ食べられるようになりました。しかし、食材の手に入る時期も量も季節によって限られていた時代、山菜は春から初夏にかけての貴重な食料であり、飢饉や非常時に備えての保存食としても重要なものでした。また、保存した山菜は非常時のみならず、正月や慶事、仏事などの行事の時に

おもな山菜と旬の時期



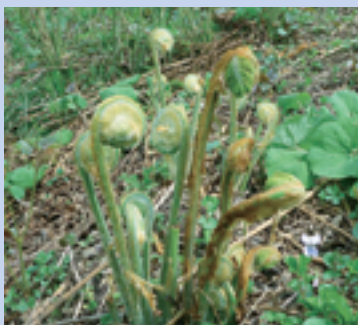
▲こごみ／5月上旬～6月中旬



▲たらのめ／4月中旬～6月上旬



▲こしあぶら／5月上旬～下旬



▲ぜんまい／5月中旬～6月上旬

出荷できるまでの道のり

山形県はわらび・たらのめの生産量が全国一（平成25年林野庁調べ）を誇るなど、全国有数の山菜生産地です。本町でも各地で山菜栽培が盛んであり、畑での栽培はもちろんのこと、林床栽培やビニールハウスなどでの促成栽培などいろいろな手法で生産がおこなわれています。ぜんまいを例にとり、出荷できる

用いられました。町の面積の70%近くを山林が占める大江町。山や森とともに暮らしてきた人々にとって、古くから山菜は生活に欠かすことのできない、まさに「山の恵み」そのものであったと言えるでしょう。

までの流れをご紹介します。ぜんまいは根株を植えてから収穫出来るようになるまでには3年ほどかかりますが、その後は収穫量も増えていき、10年以上にわたって収穫することが出来ます。夏場は除草などの手入れが不可欠であり、秋には肥料をまいて生育を促します。冬になると山間部は雪に閉ざされ、ぜんまいも深い雪の下に埋もれたまま、長い眠りにつくことになります。5月頃になって雪が完全に消えると、いよいよ収穫。刈り取ったぜんまいは釜で茹でてわたを取りのぞきます。その後、乾燥させながら揉むという作業を3回ほど繰り返すことで、柔らかくおいしいぜんまいになっていきます。

最高のぜんまいをお届けするために



ぜんまい・なめこ生産者
庄司 總一郎 さん（黒森）

20年以上前にぜんまいの株を植えはじめ、少しずつ増やしながら栽培してきました。ぜんまいは大きな株が出来るのですが、短い間にたくさん増えることはなく、株が枯れてしまったり、ネズミにかじられたりすることもあります。

杉林での林床栽培など、これまでいろいろと試行錯誤してきました。日かげで養分が豊富な土で育ったぜんまいは、太くて味も良いと好評をいただいています。

水で戻すなどの手間もあって、若い人たちにはぜんまいはあまり馴染みがないかも知れませんが、旬の時期に採れたおいしいぜんまいを、ぜひ味わってください。



▲ぜんまいを茹でる釜は、直径1m以上あります

最後に根元の固い部分を切り取るなどの仕上げの作業を経て、ようやく出荷となります。

おいしく味わうには

山菜は野菜と同じく食物繊維を多く含み、また種類によって異なりますが、ビタミンやミネラルの供給源ともなります。煮物や和え物、山菜汁など、メニューもバラエティ豊富。健康志向の高まっている現代では、ダイエット食品としても需要が期待されます。

よりおいしく味わうためには、新鮮なうちに食べることが重要です。なかでも、しおれやすい若芽や葉は出来るだけ早く食べるのがよいでしょう。季節に大量に採れるものや



▲保存した山菜は、季節を問わず味わうことができます

一度に食べきれないものは、保存して利用することが出来ます。種類によって適した保存方法がありますので、正しい方法で保存しましょう。

豊富な資源を生かして

里山には豊かな自然に育まれた「食」「景観」「文化」、生産活動の場に加え、多面的な機能を持つ「森林」「農地」など、多様な資産や資源があります。山形県ではこれらの豊富な森林資源を生かして中山間地域の活性化を図るため、平成25年11月に全市町村と連携して「やまがた里山サミット」を設立し、オール山形での林業振興を進めようと「やまがた森林ノミクス」を宣言しました。大江町ではまだ利用されていない森林資源が多く、山菜などの生産・販売の規模拡大が今後の課題となっています。

こうした中で、5月に本町で開催される「全国山菜サミット」を契機に、「森林ノミクス」のモデル事業としてさまざまな取り組みが検討されています。山菜やきのこの潜在的な需要を踏まえ、森林資源を有効に活用した生産・販売ビジネスの起業化により新たな地域産業を創出する

豊かな自然がくれた 旬の味覚をぜひどうぞ



「まんまの会」代表
渡辺 よし子 さん (小斬)

各地の農産物直売所の売り上げが低迷していた時期、なんとか多くのお客さんに来てほしいと始めたのが、農家の女性たち11人で立ち上げた「まんまの会」と、旬の食材を生かした「若返りランチ」でした。

山菜は私たちにとってなんら特別なものではなく、自然の恵みをいただいて生活をつないできた先人たちの時代から変わらない、生きるために必要なものだと思っています。

大江町は寒暖の差が大きく、植物を育む土も養分が豊富で、この恵まれた環境で育った山菜はどれをとっても大変おいしいです。都会から来られる方々にも、旬のとれたての山菜をぜひ味わってほしいですね。



“十八才の”若返りランチ

ふきのとうの揚げ物、赤ごみのおひたし、山菜汁など、山の幸をふんだんに盛り込んだボリュームたっぷりのランチ。

これを食べれば、あなたも〇歳若返る!?

若返りランチ / 1,200 円

『おぐら亭』(十八才・小倉交流館)

オープン期間は4~6月と9~11月。

ランチの提供は第2・第4日曜日。

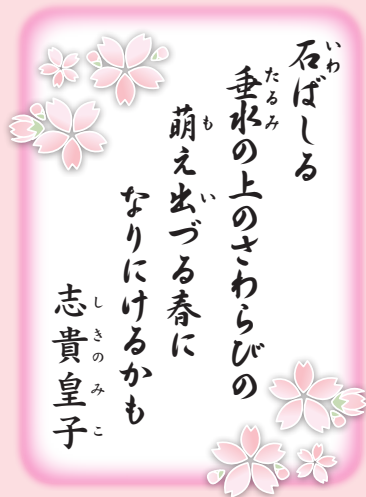
ご予約・お問い合わせ ☎ 62-3495

ちえつととぼれ話

志貴皇子が詠んだこの歌は、『万葉集』に収められている和歌の中でも特に有名であり、岩の間の水辺に芽吹いたわらびに春の息吹を見出して詠んだ歌だと言われています。この「さわらびの萌え出づる春」という表現は、のちに小式部内侍や源実朝も使用しているように、その鮮烈な印象が後世の歌人にも影響を与えました。

また紫式部の『源氏物語』にも「早蕨」の巻があり、わらびやつくしなどの山菜が届けられる場面が描かれています。

春の風物詩として古くから親しまれてきた山菜。その鮮やかな季節感は日本人の感性の中に深く根ざし、現代まで受け継がれています。



ことがその目標です。また、食育・地産地消の観点からも山菜は見直されています。町内の小学校では町の郷土料理や地元で採れた食材、季節の農産物などを多く取り入れた「ふるさと給食」を、毎月19日の「食育の日」を目安に実施しています。山菜を取り入れることで栄養バランスのとれたメニューとなり、地域の食文化や郷土料理への理解を深めることのほか、地元で採れた食材を安心して食べられること

から、地域の活性化にもつながっていくことが期待されています。あまりにも身近で注目されることのない山菜ですが、ふるさとの自然がくれた大切な資源と考えると、見方も変わってくるものです。これからの季節、まさに山菜シーズン真っ盛り。採りたての山菜の味覚を堪能し、山菜採りや山歩きなどで新緑の山の息吹を満喫して、清々しい気分浸ってみてはいかがでしょうか。

『全国山菜サミット in 大江』開催

本サミットでは子供から大人まで食卓で楽しめるような新たな山菜料理を見つけ出し、大江町の山菜文化の魅力を全国に発信していきます。

【日時】平成27年5月24日(日)～5月25日(月)

【会場】町民ふれあい会館

山里交流館「やまさあーべ」ほか

【主な内容】

- (1日目)・町内オプションツアー
- ・オープニングアトラクション
- ・記念講演 久保木武行氏
(酒家華福寿オーナーシェフ)
- ・山菜シンポジウム
「山菜文化の魅力発信!!
～食卓に山の恵みを～」
- ・全国山菜文化交流会
- (2日目)・講話 村上弘子氏(青葙復活夢見隊代表)
- ・餅つき体験および加工施設見学
- ・町内オプションツアー

【お申込み・お問い合わせ】

第10回全国山菜サミット実行委員会事務局

(大江町役場農林課内) ☎(62)2115



2014

大江の景観 フォトコンテスト

大江町の景観に対する興味関心を高め、町の景観と観光のPRに活用していこうと、「2014 大江の景観フォトコンテスト」が開催されました。今回は合計118作品の応募をいただき、大賞1点をはじめ「大江の自然」「大江の文化」「フォトエッセイ」の各部門で部門賞・金賞・銀賞各1点、奨励賞12点が入賞作品に選ばれました。その一部を、志村直愛審査委員長（東北芸術工科大学教授）のコメントとともにご紹介します。（銀賞以上・敬称略）



大賞 「夕涼み」 芳賀和代（寒河江市）

今回、文化的景観の構成要素となった建物を撮影した数少ない作品です。商店街が一番賑やかになる夏の夜、街灯と飾りの提灯、店の灯りに加え夏の風物詩、一発の花火が彩りを添えています。その灯りに照らし出された昭和初期から続く商家の造りこそが、この町の魅力であることを、さらには、まだまだ元気健在な商店街の息吹を、この一枚が確かに伝えてくれています。



大江の自然部門・部門賞

「大河」 早坂武弘（尾花沢市）

この風景を見て、地元の方多くの方は、写っているのは隣の市だとおっしゃるかと思いますが、しかし、歴史と自然が織りなすこの独特の風景は、大江町から見てこそそのわが町固有の眺望風景なのです。その解釈なくしては富岳三十六景も成立し得ません。美しい隣地の眺めを大いに誇ろうではありませんか。



大江の文化部門・部門賞
「おもてなし」

早坂武弘（尾花沢市）

町の文化を写真で表すとしたら何を撮影すればよいでしょう。応募者が必ず悩むであろうこの課題を、作者は実に欲張りに解決されています。歴史文化、建築文化、食文化、民俗文化……様々な文化の中に、私達の生活があることをこの一枚は贅沢に、しかも静かに物語っています。



フォトエッセイ部門・金賞

「大江ごっこ」 齋藤仁志 (中山町)



大江の自然部門・金賞
「寒く朝」

安藤幹雄 (4区)



フォトエッセイ部門・部門賞

「明るい将来」

内田智子 (深沢)

おおえまちの5文字が親子3代の生活を巧みに伝える、まさしくフォトエッセイならではの手法をうまく活かした作品です。家族一人一人の表情が実に豊かで、笑顔やピースサインすら自然に感じられます。案外この暮らしも素敵なのではないかと実感させる、対外PRにも活かしたい一枚といえましょう。



フォトエッセイ部門・銀賞

「メルヘンの町大江町への旅」

松田 勉 (寒河江市)



大江の文化部門・金賞

「秋祭」 大谷茂家 (13区)



大江の自然部門・銀賞
「虹と滝」

大場直寛 (河北町)



大江の文化部門・銀賞

「防空壕体験」 芳賀和代 (寒河江市)

奨励賞

- 佐藤利恵子 (小見) 2点
- 早坂 健二 (西川町)
- 大谷 茂家 (13区)
- 安藤 幹雄 (4区)
- 阿部 紀秋 (山形市)
- 佐竹 吉廣 (寒河江市) 2点
- 増川 満 (河北町)
- 庄司 清信 (藤田) 2点
- 櫻井 洋志 (山形市)

■山里から未来を切り拓く～山里交流館「やまさあーべ」オープンセレモニー～

旧七軒西小学校の校舎を改修した大江町山里交流館「やまさあーべ」が4月29日にグランドオープンを迎え、これを記念してオープンセレモニーが開催されました。

式典では施設の指定管理者となる「さわらび会」の今野壽子代表が「恵まれた自然環境の中にあるこの施設を、ぜひ多くの人に使っていただきたいです」とあいさつしました。また、この式典には吉村美栄子知事をはじめ多くの来賓が出席し、本町と交流のある宮城県亶理町の齋藤貞町長は「里山の資源は地方再生の切り札になりうるので、大江町の取り組みをぜひ参考にしたいです」と祝辞を述べました。その後、出席者が玄関前でテープカットに見立てた「丸太カット」をおこない、施設のオープンを祝いました。

その後の祝賀会では、地元で採れた食材を使った郷土料理が出席者に振る舞われ、地元・柳川平の大黒舞保存会による「柳川大黒舞」が披露されました。その後、セレモニーに出席した12名の亶理町議会議員と、大江町議会議員の交流会が柳川温泉でおこなわれました。

また、式典終了後には一般の希望者を対象に「山里体験プログラム」が開催され、参加者は施設周辺の草花や虫を観察し、山の中で採集した葉っぱを使った「叩き染め」を体験しました。

「遊んで食べて泊まれる」施設としてオープンした「やまさあーべ」。今後も自然体験などを通して、山里と都市部との交流の場になることが期待されます。

※ご予約・お問い合わせ 山里交流館 ☎64-2507



▲左から齋藤亶理町長、渡邊町長、吉村知事、小野議長、さわらび会今野代表



▲左：やまがた地鶏や山菜料理を味わう出席者



右：葉っぱの叩き染めに挑戦する子どもたち



■新しい学び舎で ～楯岡特別支援学校大江校開校～

平成25年3月をもって廃校となった旧三郷小学校の校舎を活用して、このたび県立楯岡特別支援学校大江校が開校することになり、4月14日、開校式と入学式がおこなわれました。

石塚信雄校長は「いよいよ新しい学校のスタート。先生も生徒もみんな力で合わせ、良い学校を作っていきますよ」とあいさつし、中学部5名、高等部8名の新生徒、そして中学部2名、高等部6名の転入生も、新しい学校生活への意気込みを新たにしていました。

■地域の防災のために ～鈴木新消防団長就任～

大江町消防団の団員として41年間消防活動に従事し、団長を6年間務められた鈴木文雄さん（下北山）が、3月をもって団長を退任されました。

4月からは鈴木直喜さん（月が丘）が新しく団長を務められることになり、4月1日、町長より辞令が手渡されました。東日本大震災や2年連続で町を襲った豪雨災害を受けて、防災意識が高まっている中、消防団活動のいっそうの充実が期待されます。

よろしくお願ひします



鈴木直喜新消防団長

お疲れさまでした



鈴木文雄前消防団長

平成27年度

大江町消防団春季消防演習

平成27年度の大江町消防団春季消防演習が、4月26日に開催されました。会場となった左沢小学校では、消防団員による消防操法、幼年消防クラブによる訓練がおこなわれたほか、左沢内町・横町通りでは一斉放水訓練に続き、堂々の分列行進が披露されました。

また、演習終了後には、町民ふれあい会館で消防活動に功績があった方々が表彰されました。



▲表彰式の様子

消防庁長官表彰

- ◎永年勤続功労章／渡邊 厚
- ◎永年勤続退団者／渡辺 勉、松田文明、柏倉淳吉、清野邦宏、西田正広、安彦洋一、佐竹一徳

山形県知事表彰

- ◎永年勤続退団者／渡辺 勉、松田文明、柏倉淳吉

- ◎金条章／第1分団第3部

- ◎特別功労章／菊地 邦弘

- ◎功労章／伊藤 学、最上健介、渡邊寛寿、古口 修、漆畑 諭

- ◎功績章／柏倉栄一、庄司隆弘、岡田照彦、庄司信也

- ◎精錬章／菊地拓朗、菊地俊次、伊藤幸紀

山形県消防協会会長表彰

- ◎竿頭綬／第3分団自動車部

- ◎優良章／菊地 誠、大泉徹朗、佐藤和弘、小野真人、佐竹辰也、楠ヶ谷朋秋

- ◎永年勤続25年／村山繁律

- ◎永年勤続20年／漆畑 諭、菊地俊次、村山茂暢、柏倉智史、鈴木 繁、奥平昌弘

- ◎永年勤続15年／横山邦弘、菊地俊一、庄司信也、伊藤幸紀、村上 勇、松田誠、清野 厚、佐藤英樹、森 道彦、柏倉浩治、佐藤寿薫、柏倉正志、鹿股桂一、伊藤 茂、高橋 実、清野能史、横山智康、大泉久俊、渡辺 慎、柏倉

孝行、庄司 武

山形県消防協会西村山支部長表彰

- ◎竿頭綬／第2分団第1部

- ◎優良団員／高野文弥、工藤和明、鈴木吉雄、海野達也、金山 拓、清野 厚、最上和洋、大場拓郎、鹿股桂一、村上裕也、菊地 茂、菊地 智、堀 浩哉、大沼智裕、柏倉友樹、大泉久俊

大江町長表彰

- ◎優良団員／佐藤元一、清野利史、木村淳一、横山裕亮、安藤 均

大江町長感謝状

- ◎一般協力者／荻野子供会

- ◎内助の功労者／村山喜代美

- ◎優良機関／第1分団第2部、第4分団第3部
- (敬称略)



▲幼年消防クラブ



▲分列行進



▲小型ポンプ操法



▲一斉放水



3/25 町おこしのために一丸となって

「地域おこし協力隊」として2年間活動してきた石坂康平さんが、3月25日、その集大成として東地区公民館で活動報告会をおこないました。

石坂さんは平成24年4月から「緑のふるさと協力隊」として大江町で1年間活動したあと、引き続き「地域おこし協力隊」として子どもたちを対象とした自然体験教室などの活動を展開してきました。

また、メディアを活用して町の魅力をより広く発信しようと、映像制作にも熱心に取り組み、カメラに収められた生き生きとした町の姿は「大江町の魅力発見VTR」や「大江町TV」といった映像作品として結実し、上映会やインターネットを通じてたくさんの方々の共感を得ています。

石坂さんは3月をもって地域おこし協力隊の任期を終え、4月からは映像技師という新しい道に進みますが、今後も引き続き集落支援員として活動を続けていくこととなります。

これからも町民の一人として、地域の皆さんとともにいっそう活躍されることが期待されます。



▲田ノ沢地区での活動の様子

◀これまでの活動を振り返る石坂さん

4/8 元気にあいさつ 小学校生活スタート

4月8日に町立小学校の入学式がおこなわれ、左沢小学校37名、本郷東小学校19名の新入生が学校生活の第一歩を踏み出しました。

本郷東小学校では、上級生の作った花のアーチに迎えられて新入生が入場し、奥山由美子校長は「本郷東小は、学年が違ってみんな仲良しです。明日から毎日元気に登校しましょう」とあいさつ。その後、2年生が歓迎の気持ちをこめて鍵盤ハーモニカの演奏とダンスを披露し、躍動するその姿に新入生は楽しそうに見入っていました。



3/25 満開の花楽しみに 桜植樹

この春左沢小学校を卒業した子どもたちが、3月25日、新最上橋近くの最上川河畔で桜の記念植樹をおこないました。植樹は大江ロータリークラブの社会奉仕事業「うえるかむ桜」プロジェクトとして企画され、代表児童5人をはじめ保護者や会員らが参加。高さ3.5mから4mに育った3本のソメイヨシノの根元にスコップで土を盛りました。

植えられた桜はこの春から咲くとのことで、子どもたちは桜の成長を願い、開花の時を楽しみにしていました。

4/18

一筆一筆に心を込めて

町内の小学校3年生から6年生を対象とした少年少女書道教室の開講式が、4月18日に旧本郷西小学校でおこなわれました。この教室は書道を通して青少年の健全な育成をめざし、20名の指導員・推進員の指導によって毎週土曜日に開催されます。

開講式終了後は、さっそく第1回目の練習会。今年から新たに受講することになった14名の3年生は、清野昭一郎さん（十八才）をはじめとする



先生たちから、筆の持ち方や姿勢などの基本を教わり、緊張した面持ちで筆を動かしていました。

4年生から6年生の受講生もそれぞれ昇級・昇段をめざし、仲間たちとともに真剣に練習に励みました。



4/21

「食」から未来を考える

食生活の改善で健康づくりを推進する大江町食生活改善推進協議会（会長：伊藤昌子さん・小漆川）の総会が、4月21日、保健センターでおこなわれました。今年度は「男性の料理教室」など、自らの手で健康づくりを進めるための活動をしていく予定です。

総会後の研修会では、1年前に伏熊に移住し新規就農した橋本光弘さんが講演をおこない、1人ひとりが食への意識を変えることが大切だと話されました。参加者から大江町の良さについて質問されると、「町民の方の心がとても温かくて、居心地が良いところです」と笑顔で答えていました。



4/27~29

期待を背負いたすき繫ぐ

遊佐町から山形市までを駆け抜ける、第60回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日から29日にかけておこなわれました。

今年大江町から寒河江西村山チームに選抜されたのは、清野大地さん（堂屋敷）、菊地春紀さん（深沢）、古澤哲平さん（諏訪原）、佐藤和也さん（蛍水）、大沼翼さん（美郷）、里見拓磨さん（5区）の6人。昨年より1区間増えて29区間305.4キロとなったこの大会で、寒河江西村山チームは2日目の大江中継所で4位でたすきを繫ぎ、沿道からの声援に応える走りを見せました。



4/9

交通事故ゼロを目指して

春の訪れとともに道路事情が活発化するこの時期は、交通事故の多発が懸念される時期でもあります。4月9日、町内3か所で街頭指導があり、通勤・通学者に、飲酒運転の撲滅やシートベルトの着用、安全な横断歩行を呼びかけました。

街頭指導後には、八幡神社で交通安全祈願祭がおこなわれ、交通安全連絡協議会をはじめとする多数の関係者が参加しました。町民の皆さんが署名した『交通安全宣誓署名簿』を奉納し、交通事故のない明るく住みよい町を目指していくことを改めて誓いました。

「全国山菜サミット」が大江町で開かれる。5月24日、七軒地区・「山さあべ」旧七軒西小学校・山里交流館・「柳川温泉」が主会場。深い雪から春一斉に芽を出す「旬の山菜」を味わいながら、全国の方々と交流を深める絶好のチャンス。皆で、さあ皆、山さあべ。

山の猟師と川の漁師が、山に生かされ、川に助けられた時代は、そんなに昔のことではない。朝日岳の麓、大井沢の志田忠儀氏の「ラストマタギ」を読ませていただいた実感でもある。豊かな山と川が人間の命を支えていると考えるのは、アナクロどころかニューファッションだ。志田さんの百年近い山とのかかわりが、そう語っている。

トップ、ピーク、サミット：高い点を表す言葉・サミットは「高く連なる峰々」のことだろう、と思う。広い裾野を睥睨しながら、孤高に酔いしれず、立ち位置を謙虚に見つめて、不動で無言のたおやかに連なる峰々と近くに棲む人々は誇り高く、人間社会の憧れにもなる。山に挑む「登山」や自然回帰の指向はその証であろう。

「草木塔」は、「人と山菜」に隠れている信仰にも近い思いの深さのシンボルだという。山菜は、山に生える野菜ではない、自然の恵みだ、「山野メグミーナちゃん」だ。どんな「全国山菜サミット」にしたいか。採るか、植えて育てるか。見るか、食べるか。聞くか、語るか……西山に向かつて、さあ皆で、さあ皆、山さあべ。

(注) 大江町周辺では、一緒に行く、出掛ける時の言葉に、あべ・あーべを今でも使っています

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.21

横町の山形銀行左沢支店の斜め向かいにあるのが上田家です。かつてそば屋を営んでいた商家である上田家は、現在の当主で17代目を数えます。母屋は内町横町通りに北向きに面して建つ二階建ての商店建築で、正面は漆喰塗り、側面は下見板貼りと異なる仕上げになっています。昭和11年の大火後、昭和13年に建築されたもので、



昭和期らしい高い天井が特徴です。2階に配された高欄が、近代商家らしい華やかさを感じさせます。土蔵は内町横町通り沿い南側の店の背後に位置しています。この土蔵は大火以前からのものとされ、切妻屋根の載る伝統的な形式となっています。

◀店の裏側に位置する土蔵



上田家

短歌

春彼岸帰省し孫と香を上げて仏事語りひ小半日過ぐ
佐竹磨砂湖

春光に白蓮清楚咲く花に心奪われしばし眺めん
菅井 妙子

通院の夫の着替えに手間を取る老老介護の年齢となりたり
菊地つねよ

ティーシャツに半袖ブラウス重ね着て若者は行く小雪降る街へ
佐竹 麗子

凌雲の山々そびゆ盆地にて新人生は学び始める
山家 重之

陽春や窓にうつろふ南天の実は赤くして落つる音なし
佐竹 與鼓

夢浅き春暁なればたまゆらに妻の手をとり夢を見むかと
齋藤 徳治

俳句

春の雲娘に問わるるも答出ず
菅井 妙子

寒梅の床で開くや紅さやか
鴨田富士夫

雲雀鳴く声や空より降り注ぐ
今井 茂樹

最上川流れのなかに雪解色
阿部 一風

風光るゆれる帽子とランドセル
山家 重之

曾孫持つ手縫ひのバック風光る
安藤由美子

清明やそこに落葉の手水鉢
熊谷 勉

種運び一期一会の如きかな
舟山 三男

近づくも離れてもよし花明り
伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。

お年寄りの元気な顔が見たくて

清野 舞さん (21歳・藤田)

「小さい頃は『おばあちゃん子』だったんです」

お年寄りと接するのが大好きだという清野さんは、高校卒業後働きながら介護の勉強をし、現在は山辺町にある介護保険施設メルヘンの通所リハビリ事業所で働いています。

体操や歩行訓練など、お年寄りのリハビリの補助をしている清野さん。3年目となった今でも、介護の仕事は苦労の連続だそうですが、「ありがとう」とお礼を言われた時、この仕事をしていてよかったと思うそうです。

休みの日の楽しみは、2年前から始めたスノーボード。また大の温泉好きでもあり、毎週のようにテルメ柏陵に通っています。

「リハビリに通って来られるお年寄りの方に、元気になってほしいんです」と、今後の仕事への意気込みを語ってくれました。



Youthful
トーク

地域おこし協力隊通信 No.11

この4月から新たに本町の「地域おこし協力隊」として、佐々木隆馬さん、高橋里奈さんのお二人が着任しました。さらなる地域の魅力の発見や情報発信を通じて、町おこしのために活動を開始しています。地域の皆様のご協力をよろしくお願いたします。



佐々木 隆馬 さん

☆年齢：36歳
☆出身地：神奈川県横浜市
☆趣味・特技
自然観察(ヘビやカエルが大好きです)、音楽(ギター、ベース、パーカッション等)

1月から、柳川平に妻と1歳になる息子と共に移住してきました。そして、4月にオープンした「大江町山里交流館やまさあーべ(旧七軒西小学校)」の館長、兼ガイドとして仕事をさせていただいています。地元の方々にご指導いただきながら、勉強の毎日です。

今年の目標は、やまさあーべの運営を軌道に乗せ、少しでも多くの方に施設を知っていただくことです。微力ながら、地域振興に貢献できるよう頑張っていきます。



高橋 里奈 さん

☆年齢：24歳
☆出身地：福島県伊達市(旧伊達町)
☆趣味・特技
水泳・食べ歩き

はじめまして！ 4月から大江町地域おこし協力隊として着任した高橋里奈です。主に本郷西地区を中心に活動させていただきます。大江町には、東北芸術工科大学在学中から何度も通っていました。縁のある大江町で活動する機会をいただけてとてもワクワクしています。

至らない点など多々あるかと思いますが、本郷西地区を始め、町全体のことを学びながら、精一杯頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

お知らせ

Information

平成27年第1回大江町議会臨時会が開催されます

第1回大江町議会臨時会が、5月

13日(水)に開催される予定です。

※お問い合わせは、議事事務局

☎(62)2228まで

春の交通安全県民運動

春は道路における歩行者や自転車利用者も増え、交通事故の多発が懸念されます。町民一人ひとりが交通安全について考え行動し、悲惨な交通事故を無くしましょう。

◆期間／5月11日(月)～5月20日(水)

※5月20日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

◆運動の重点／

- 一、子どもと高齢者の交通事故防止
- 二、飲酒運転の根絶
- 三、道路横断時・交差点における交通事故防止（横断歩行者保護意識の徹底）
- 四、自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用5則の周知徹底）

五、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 ※お問い合わせは、大江町交通安全対策協議会事務局 総務課危機管理係 ☎(62)2187まで

防火管理者資格取得講習のご案内

◆講習種別／甲種防火管理講習 新規講習

◆期日／6月23日(火)・24日(水)

◆受付期間／5月18日(月)～29日(金)

◆会場／山形ビッグウイング

◆受講料／6170円（テキスト代含む）

◆申込書などの入手先／一般社団法人 山形県消防設備協会、消防本部、消防署など

※お問い合わせは、一般社団法人

山形県消防設備協会 ☎023-629-8477

または、西村山広域行政事務組合消防本部 ☎(86)2571まで

危険物取扱者試験について

◆試験の種類／甲種・乙種（全類）・丙種

◆期日／7月11日(土)

◆場所／寒河江工業高等学校

◆受験申請期間／5月25日(月)～6月

AED設置場所のおしらせ

町の公共施設には、AED（自動体外式除細動器）が設置されています。AEDは電気ショックを与えるための機器で、音声メッセージで指示してくれますので、簡単に操作することができます。いざという時、すぐに対応できるように設置場所を確認しておきましょう。

◆大江町AED設置場所（平成27年4月1日現在）

番号	施設名	設置場所
1	奥おおえ柳川温泉	玄関前
2	貫見こぶし館	玄関前
3	テルメ柏陵健康温泉館	ロビー
4	体育センター	事務室
5	大江町役場	玄関ロビー
6	左沢小学校	玄関
7	本郷東小学校	玄関
8	大江中学校	玄関
9	さくら保育園	職員室
10	わかば保育園	職員室
11	旧本郷西小学校	玄関
12	町民ふれあい会館	ロビー
13	朝日学園	1階玄関
14	左沢高等学校	1階玄関
15	朝日少年自然の家	1階玄関
16	老人福祉センター柏陵荘	ロビー

※お問い合わせは、健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114まで

3日(水)

◆受験申請先／一般財団法人 消防試験研究センター山形県支部

◆願書設置場所／西村山広域行政事務組合消防本部、消防署、各分署

従来の受験申請のほか「インターネットによる受験申請」もできます。

詳しくは、一般財団法人 消防試験研究センターのホームページをご覧ください。

平成27年度警察官募集

警察官A区分（大卒）

◆受験資格／昭和55年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方で、大学（短大除く）を卒業した方、または平成28年3月までに卒業見込みの方（人事委員会が同等と認める方を含む）

- ◆ 申込期間 / 5月12日(火)～6月22日(月)
- ◆ 試験日 / 7月12日(日)
- ◆ 警察官B区分(短大・高卒)
- ◆ 受験資格 / 昭和55年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方で、警察官A区分の受験資格に該当しない方
- ◆ 申込期間 / 7月31日(金)～8月31日(月)



様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介しします



山形県知事表彰
佐藤 あゆみ さん (7区)

昨年11月に愛知県で開催された「第52回技能五輪全国大会」理容職種で銀賞に輝いた佐藤あゆみさんに、「技能競技大会成績優秀者知事表彰」が贈られました。今年の大会に向けて練習中の佐藤さんは「応援してくれる皆さんのためにも、もっと技術を磨いていきたいです」と話してくれました。

- ◆ 試験日 / 9月20日(日)
- ※ お問い合わせは、寒河江警察署 ☎(83)0110 または各交番、各駐在所まで

自動車税の納期限は6月1日(月)です

お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアのほか、インターネットを利用してクレジットカードでも納めることができます。皆さん、忘れずに期限まで納めましょう。

※ お問い合わせは、村山総合支庁課 税課 ☎023-621-8256まで

「2015.05 YAMAGATA ハローワーク就職面接会」を開催します

◆ 日時 / 5月30日(土) 13時～16時 (受付は12時から)

◆ 場所 / 山形ビッグウイング

◆ 対象者 / 既卒未就職者・UIターン希望者含む全年齢の一般求職者 (平成28年3月新規学校卒業予定者は除く)

◆ 参加企業 / ハローワークさがえ・やまがた・むらやま管内の求人企業100社を予定。5月中旬よりホームページ・週刊求人情報誌にて公開予定
※ お問い合わせは、ハローワークさがえ

がえ 職業相談部門 ☎(86)4221 まで

一日人間ドック、ミニドック(総合健診)をぜひ受けましょう!

生活習慣病は、自覚症状がなく進行します。放っておけば、大きな病気につながる恐れがあります。自分の健康状態について正確な知識を持ち、健康管理を続けるために、年に一度は必ず健診を受けましょう。

【クーポン券をご利用ください】

大江町国民健康保険に加入されている方で、平成27年4月1日において満39歳、満40歳、満45歳、満50歳、満55歳、満60歳、満62歳(この年齢のうち一度)の方については、一日人間ドック(二部がん検診含む)が2500円、ミニドック(一部がん検診含む)が2千円で受診できます。対象の方にクーポン券をお送りしますので、この機会にぜひ受診されたいかがですか。

【電話で受診をお勧めしています】

今年度、町の健診を申し込んでいない大江町国民健康保険加入の40歳～74歳の方に、町で委託している在宅保健師が、電話で健診受診のお勧めをしています。申し込みをお忘れの方や、これから受けてみようとお考

えの方は、ぜひお申し込みください。 ※健診のお申し込みは、健康福祉課 保健衛生係 ☎(62)2114まで

4

月4日、全国各地で皆既月食が見られました。思い起こしたのは、同じく皆既月食が全国的に観測された昨年10月8日の夜、欠けていく月をコンパクトデジカメで動画に収めようと試みた時の情景でした。この無謀極まりない企ては当然のごとく残念な結果に終わったわけですが、刻一刻と地球の影に飲みこまれていく月の姿は、今でも鮮明に記憶しています。やがて東の空に現れたのは、赤黒く鈍く輝く、普段とは似ても似つかぬ異相をした満月。その神秘的な威容を呆然と見上げながら、月は太陽に照らされて輝いているのだという当たり前の事実さえ、普段の生活の中では忘れてしまっていたことに気づかされました。科学技術が発達した現代でも、空を見上げて何かを「想う」のは一人の人間。一眼レフカメラの扱いに慣れてきたら、もう一度夜空にレンズを向けてみたいものです。



編集後記 (伊藤智治)



陶芸教室 月が丘 鈴木文子

リレー随想／ 《第95回》

脇道での縁

今年、大江中学校のPTA会長を拝命し、重責を全うできるのかという漠然とした不安で一杯である。思い起こしてみれば、7年前、さくら保育園の保護者会長をさせていた。当時、さくら保育園とわかば保育園の2つの町立保育園で連絡協議会を組織していたが、わかば保育園では保護者会長の人選が難航しているという。誰が保護者会長になってくれるのか心配しながら

も、自分たちは役員会が終わった後、懇親会に出かけた。入った居酒屋で、わかば保育園の保護者S君と遭遇した。彼は、自分が社会人になったばかりの20年以上前に、バスケットボールチームで偶然一緒にプレーをした仲間だった。当時彼は高校生で自分とは7つも年が離れ、普通の生活では接点があるはずがない。彼が高校を卒業し就職してからは、たまに町中で会えば声を交わしていた。この日は「俺がさくら保育園の保護者会長をすることになったから、わかば保育園の方は頼むよ!」と言った。後日、彼が保護者会長となったことを聞いて、とても嬉しくなった。町の保育園連絡協議会では、S君と昔話をしたりしながら、他の役員とも和気藹々と歓談することができた。

何とか保護者会長職を終えた春、小学2年生になる次女の学年で学年委員に選ばれた。同じ委員に、やはり同じバスケットチームだったI君がいた。彼も当時は高校生であり、もちろん普通は接点がなかったはずである。ここでも彼とすぐ打ち解けることができ、卒業する6年生まで一緒に学年委員を続けてきた。次女が卒業すると、小学校の庶務文化副部長を引き受けることになった。1年後、自分が部長に昇格するにあたり、後任の副部長を選んでいたところ、保護者名簿で、またバスケットチームと一緒にプレーした1学年下の人物に目が止まった。早速電話したところ、快諾してもらえた。1年間だけではあったが、色々とサポートしてもらいとても心強かった。

バスケットチームには、幼なじみのO君に誘われて入れてもらい、3年ぐらい週1回汗を流しただけだった。自分は、中学から大学まで卓球部に所属し、現在も卓球に携わっている。運動は好きだが、卓球の道しか歩いてこなかった自分にとって、バスケットチームに入ったことは、一見「脇道」を歩いた時間だったかも知れない。しかし振り返ると、その「脇道」での出会いが、親となった自分をこなにも助けてくれていたと気がついた。当時誘ってくれたO君に、心から感謝である。

今年1年は、色々な会議に出席することになるであろう。思いがけない旧友との再会や、新しい出会いが待っているかもしれない。そんなことを考えていると、冒頭の不安を打ち消してくれるような、楽しみな気持ち芽生えてきた。

(9区 藤野知樹)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
下北山	佐竹 玲香	女	洋介・志穂
3区	渡辺 陽葵	女	智彦・美香
若原	最上 佳保	女	秀一・千恵
美郷	佐竹 颯馬	男	学・真由美
小見	伊藤 莉彩	女	怜史・愛子
小見	伊藤 茉愛	女	怜史・愛子

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名	区名・出身地名	氏名
(黒森)	庄司 光幸	(深沢)	菊地 春紀
(中山町)	野口 裕美	(宮城県)	齋藤 春恵
(朝日町)	渡邊 雄平		
(9区)	鈴木 仁美		

ご冥福を祈ります

下北山	奥山 正	(77)
藤田	安食 光雄	(84)
5区	大泉 とし	(82)
市の沢	清野 榮三郎	(86)
市の沢	安食 清助	(84)
所部	佐藤 正良	(77)
小見	春日 福芳	(77)
藤田	伊藤 きよゑ	(92)
若原	大江 親一	(82)
9区	今野 成美	(89)
下北山	松田 俊二	(74)
月布	林 隆顕	(91)
9区	根本 ツル子	(99)
若原	荒木 茂	(93)

人口と世帯(前月比)

町の人口	8,819人(-14)
男	4,353人(-5)
女	4,466人(-9)
世帯数	2,938戸(-6)

平成27年5月1日現在

戸籍の まど

3月21日～4月20日受付分